

要安全確認計画記載建築物(特定緊急輸送道路沿道建築物)の耐震診断結果

建築物の耐震改修の促進に関する法律第9条の規定に基づき、建築物の所有者から報告された耐震診断の結果を公表します。

【民間建築物】

No.	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果					耐震改修等の予定		備考
						指標1	結果1	指標2	結果2	安全性	内容	実施時期	
1	恋ヶ窪マンション		国分寺市戸倉1-2-2	店舗, 事務所, 共同住宅	(5-3) 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso	0.73	$C_{TU} \cdot S_D$	0.47	II	未定	未定	Iso=0.6
2	VIVA城下		国分寺市東戸倉2-11-9	店舗, 事務所, 共同住宅	(2) 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。)	上部構造 評点	1.05			III	耐震改修	平成28年8月着工 平成28年10月完了	
3	森ビル		国分寺市西元町2-9-22	事務所	(5-3) 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso	0.90	$C_{TU} \cdot S_D$	0.19	II	耐震改修	検討中	Iso=0.6
4	日建工事第一ビル		国分寺市西元町2-16-18	事務所, 住宅	(5-3) 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso	1.35	$C_{TU} \cdot S_D$	0.84	III	-	-	Iso=0.6
5	西晴ビル		国分寺市泉町3-33-2	店舗, 保育所, 共同住宅	(5-3) 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso	1.20	$C_{TU} \cdot S_D$	0.30	III	耐震改修	平成29年7月着工 平成29年12月完了	Iso=0.6
6	藤和西国分寺コープ		国分寺市西恋ヶ窪2-15-5	共同住宅	(5-3) 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso	1.00	$C_{TU} \cdot S_D$	0.40	III	耐震改修	平成30年11月着工 平成31年3月完了	Iso=0.6
7	三和木材倉庫併用住宅		国分寺市東恋ヶ窪4-29-22	倉庫, 住宅	(3-2) 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版, 2011年版)	Is	0.25	q	1.03	I	未定	未定	
8	国分寺ビューハイツ	A棟	国分寺市東恋ヶ窪4-25-6~9	共同住宅	(5-3) 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso	1.03	$C_{TU} \cdot S_D$	0.69	III	耐震改修	平成27年6月着工 平成28年3月完了	Iso=0.6
		B棟				Is/Iso	1.10	$C_{TU} \cdot S_D$	0.73	III	耐震改修	平成27年6月着工 平成28年3月完了	Iso=0.6
		C棟				Is/Iso	1.01	$C_{TU} \cdot S_D$	0.41	III	耐震改修	平成27年6月着工 平成28年3月完了	Iso=0.6
9	-		国分寺市東恋ヶ窪5-2-3	倉庫, 住宅	(3-2) 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版, 2011年版)	Is	0.63	q	2.53	III	耐震改修	平成26年6月着工 平成26年8月完了	
10	岡部マンション		国分寺市東戸倉1-22-12	事務所, 倉庫, 共同住宅	(5-3) 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso	0.51	$C_{TU} \cdot S_D$	0.34	II	耐震改修	検討中	Iso=0.6
11	早乙女ビル		国分寺市東戸倉1-27-24	共同住宅	(3-2) 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版, 2011年版)	Is	0.37	q	1.48	II	未定	未定	
12	株式会社グリーンキャブ国分寺営業所		国分寺市東戸倉1-27-14	車庫, 倉庫, 事務所	(5-3) 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso	1.08	$C_{TU} \cdot S_D$	0.66	III	耐震改修	平成27年4月着工 平成27年12月完了	Iso=0.6

附表 耐震診断の方法と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性

構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については、以下のとおり

- I. 大規模な地震^{*}の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- II. 大規模な地震^{*}の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- III. 大規模な地震^{*}の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※震度6強から7に達する程度の大規模の地震

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

耐震診断の方法		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I	II	III
(2)	一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」	上部構造評点 < 0.7	$0.7 \leq$ 上部構造評点 < 1.0	$1.0 \leq$ 上部構造評点
(3-2)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
(5-3)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$

上表は、平成27年12月11日 国住指第3435号「耐震診断義務付け対象建築物の耐震診断の結果の公表について」(技術的助言)より、該当する耐震診断方法を抜粋しています。

<参考> 用語の説明

	記号	名称	説明
1	I_s	構造耐震指標	個々の建物の耐震性能を表す指標。 構造図面や部材の強度試験結果等をもとに、構造計算して算定する。
2	I_{so}	構造耐震判定指標	建物の耐震性能の有無を判定するための指標。0.6を採用。
3	$C_{TU} \cdot S_D$	終局限界における累積強度指針(C_{TU}) 形状指標(S_D)	主に鉄筋コンクリート造の建物について、建物の形状も考慮して一定の「強度(堅さ)」を確保するための指標。
4	q	保有水平耐力に係わる指標	主に鉄骨造の建物において一定の「強度」を確保するための指標。
5	Z	地震地域係数(地域指標)	建物が建っている地域の地震活動度等に応じて国が定める補正係数。(1.0)
6	G	地盤指標	地盤や地形の形状により、揺れが増幅される恐れがある場合などの補正係数。(1.0)
7	U	用途指標	建物の用途を考慮した補正係数。(1.0)